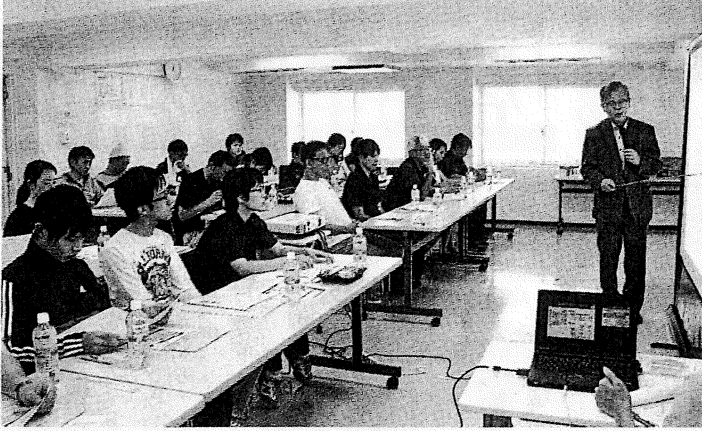


# 啓発型健診 半年の効果は

弘大COI

シバタ医理科(弘前)社員の経過検証

## 速報 値 主要項目で改善も



健診結果を見ながら、健康についての知識を学ぶ参加者

弘前大学などが開発を進めている、健康診断と啓発を組み合わせた新たな「啓発型健診」。医療機器販売などを手掛けるシバタ医理科(弘前市)社員を対象に行った今年2月の試行から半年経過後の効果を見るため9日、再度の健診が弘大医学部で行われ、その後の体の変化や行動変容などを検証した。弘大によると、速報値では主要項目で改善が見られたという。(西尾瑛)

啓発型健診は、弘大を対象に実施する。これまで産学官民で疾病予防研究や住民の健康づくりを取り組む「弘前大学COI(センター・オブ・イノベーション)」が進めるもので、医学部キャンパス内に来春整備される「健康未来イノベーションセンター」で市民栄養指導など定期的な

支援を受けてきた。9日の健診ではメタボリックシンドローム、歯科口腔など重要な約60項目について2時間で健診を受け、その後返却された健診結果を見ながら弘大の中路重之特任教授による集団指導や個別指導を受け

た。健診を受けたシバタ医理科の須藤利健さん(44)は前回健診から9kgの減量に成功。「BMI(体格指数)、血圧などこれはまずいなと感じ、食事に気を付け小まめに歩くように続けた。健診を励みに続けたのでこれから大事になる」と感想を語った。同社ではこの半年間、社員でひろさき健康増進リーダーの北村貴佳さん(46)が朝礼時、定期的に送られてくる健康に関する弘大COIからのアドバイスを伝達。「紙などで示すより直接言葉で伝える方が、少しでも耳を傾けてもらえと思う。今回、先生の指導が必要な人が半分ぐらいに減ったと聞いており、一人でも多くの社員が変わるきっかけになれば」と話した。

育で行動変容につなげることが狙いだ。シバタ医理科社員は2月の受診後も、弘大COIからの健康啓発や東北女子大学による